

zoom 1

zoomの音声が届きにくかったのでケアマネさんに聞いてからテーマを決めていこう

CM

1 ページ

歯科医師

- ・有料老人ホームの場合、歯科医師の先生からは居宅管理指導をとられているが、現場の人に伝えるのがむづかしい
- ・居宅管理指導は継続的な支援が必要といわれていたが、お金がかかる分続けるメリットを教えたい

以前訪問歯科の先生から、日頃の口腔ケアを聞かれたが、施設ではやってなかった。プラン上、サービスの上限であり、プランにいれることがむづかしかった。施設でやってもらえるようになって、施設に働きかけることもケアマネの仕事だと感じた

日頃利用者さんから歯が痛い、義歯の調子が悪いと診断され、そのようなときに相談するといいのだと思うが、予防歯科はどのタイミングで依頼すればよいか

何かのタイミングがないと頼みづらいと思っていたので話がきけてよかった

訪問歯科診療を頼む場合、内科の病院は近くにあるから歩いて行けるが、歯科は遠くて歩いていけないから訪問歯科診療を頼みたいというのは可能か？
→基本的には自分で通院できるのであれば難しいのではないかな・・・

予防効果の高い医療に歯科が入っていると思う

例えば無菌室で動物を飼い、やわらかい食べ物だけをたべ歯磨きをせずにくらしたらどうなるか？と市民に尋ねる→菌がないため虫歯にも歯周病にもならないつまり原因と結果がはっきりしている結果を求めるには費用効果の高い治療だと家r日々歯磨きは難しい

昔は歯磨きができるようになってから治療を始めようという方針もあったが難しかった。歯磨きは他人の目で見てもらってやったほうが子効率が良い

節目検診を北九州市がやっている→健常者であっても口腔ケアは必要
噛めるということはQOL向上、免疫力UP、入院日数も少なくなるため、口腔ケアは要介護者は必要歯周病は慢性疾患であるので一生ケアが必要

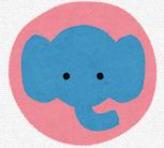
虫歯や義歯は一過性なので医療保険で行えることだが、口腔ケアは最初からあるものだと考えてもらってよいので、最初のプランを立てるときに一言だけでも「最近では医者さんで歯石など取ってもらったことはないですよ？」と聞いてもらうとよいのかも

歯が痛くもないのに歯科に行こうという気持ちにはなかなかならない歯が痛くなった時など口の中の不具合を何か経験したときがきっかけになる

口の中に興味をもってもらってよかった

義歯が必要な人は80台を超えると4割

義歯が必要な人は80台を超えると4割



z o o m 1

zoomの音声が聞きとりにくかったのでケアマネさんに聞いてからテーマを決めていこう

まとめ

CM

歯科医師の先生と対面で話すことは初めてだったためとても勉強になった

口腔アセスメントも必要だと感じました

歯科医師

歯科の専門的なことは難しが、八幡歯科医師会が口腔管理推進室（歯科衛生士常駐）を設置しているので、どんな些細な事でも相談してほしい
→近くの先生を紹介できる

技術の話が多くなりがちだが、口腔ケアの重要性（話すこと、食べること）の話ができてよかった。



Z o o m 2

訪問歯科への要望
現場のケアマネや介護士の困り事・不満事

急な訪問歯科診療の単位数を取得する場合にケアプラン作成が間に合わないことが...
治療の方針をケアプランに繁栄させたいので事前の連絡と情報交換

「歯が取れた」に対して...
初回は居宅療養管理指導を算定するかは別として、治療方針を決める為に口腔内の評価を行う。そして2回目以降にどうするのかを説明する。

「治療」もあるが日々の「ケア」も大事。継続が必要

次のページ 作ったよ

主訴に対する応急処置
口腔内の評価
介護認定を受けている場合は介護保険についての説明
担当ケアマネジャーに連絡してケアプランに繁栄してもらう

ケアマネジャーとの連携を上手くいくかは、訪問歯科診療に行く先生の経験度も

口腔機能、嚥下、姿勢、食事に関してまで幅広く対応してくれて助かっている。

ケアマネジャーに対して治療計画の共有ができるが良い

訪問リハビリの言語聴覚士が少ないのが現状なので、訪問歯科と歯科衛生士と地域の口腔、歯、食を協同して支えていけたらと思う

「口の中が汚れている」という気づきから動き始める。
ケアマネジャーのチェックとしても注意をしていく

慢性疾患のため情報提供書・報告書がワンパターンになりがち

訪問歯科の先生を変えたいという時...患者様の自由なので、担当医に伝える方が良いのでは



Zoom 2

まとめ

訪問歯科とケアマネジャーが話す機会があった

八幡歯科医師会に連携室がある
歯科衛生士が評価に行く。

「